

報告第 1 号

平成 2 8 年度事業報告について

平成28年度事業報告について

【当機構設立30周年記念事業】

今年度は郡山地域テクノポリス推進機構設立30周年にあたり、その記念として、新たな事業に取り組んだ他、既存事業の拡充など積極的に事業を行っている。その概要は以下のとおり。

1 新事業創出育成事業

インキュベーションセンターを活用し企業の新事業創出と起業化支援を行っているが、特に医療機器製造企業等へ積極的にPRを行った結果、2社が新規に入居し11室満室となった。

2 技術振興事業

- ・マイスターズ・カレッジ（産学連携製造技術人材育成事業）の充実

2コース → 3コース

（医療関連人材育成として、メディカルテクノロジーコース新設）

- ・ちびっ子マイスターズ・カレッジ（開催場所の増）

募集人員を大幅に超える応募があり、各コースとも対象人員を増して実施した。

コンクリート探検隊 : 募集40名に対し97名が参加。

コンピューター動かし隊 : 募集3会場60名に対し98名が参加。

- ・中学生医工連携人材育成事業（新規事業）

募集24名に対し91名の応募。（会場の都合もあり）27名を対象に実施した。

3 地域技術起業化推進事業

- ・受発注商談会（12月2日開催、新規事業）

発注企業26社、受注企業61社参加

- ・産業支援機関との連携（一部新規）

産業技術総合研究所福島再生可能エネルギー研究所のシーズと企業ニーズの橋渡しをしインキュベーションセンター入居企業1社が産業技術総合研究所と共同研究を開始。

事業の執行状況詳細は以下のとおり。

【新事業創出育成事業】

新事業創出と起業化促進に向けてきめ細かに支援するため、「ものづくりインキュベーションセンター」の適切な管理運営を行っている。

産学官等関係機関との支援体制の充実強化に向けた各種事業を実施している。

1. 「ものづくりインキュベーションセンター」の管理運営 (3月末時点で11室全室入居)

(1)新規入居企業(2社)

①入居者募集(起業支援室 No.5)

〔募集部屋数〕 事務室タイプ1室 〔申込件数〕 1社

・入居者審査委員会

〔開催日〕 平成28年5月13日(金)

・入居企業 株式会社マイステック

「医療機器製造・販売業・高度管理医療機器販売貸与業」

・入居開始 平成28年7月11日

②入居者募集(起業支援室 No.6)

〔募集部屋数〕 事務室タイプ1室 〔申込件数〕 1社

・入居者審査委員会

〔開催日〕 平成28年8月18日(木)

・入居企業 株式会社スズキプレシオン

「医療機器製造・精密部品加工業」

・入居開始 平成28年9月1日

(2)インキュベーションセンター入居期間延長

①第1回入居期間延長申込

入居期間満了となる入居3企業の延長申込みに関する審査を実施。

〔入居期間延長申込者数〕 3企業

・入居者審査委員会

〔開催日〕 平成28年5月13日(金)

・入居期間延長申込3企業の期間延長を決定。

(福島再生可能エネルギー株式会社、バサルトアウス株式会社、SAISEI 合同会社)

②第2回入居期間延長申込

入居期間満了となる入居3企業の延長申込みに関する審査を実施。

〔入居期間延長申込者数〕 3企業

・入居者審査委員会

〔開催日〕 平成28年8月18日(木)

・入居期間延長申込3企業の期間延長を決定。

(エコボンド環境工学リサーチ株式会社、株式会社アグリクラスター、株式会社テレジャパン)

③第3回入居期間延長及び新規入居申込

入居期間満了となる入居者の延長申込みと新規入居申し込みに関する審査を実施。

〔開催日〕 平成29年2月16日(木)

・入居期間延長申込1企業の期間延長を決定。(水野睦夫)

・新規入居申し込み1企業の新規入居を決定。(株式会社アスター)

(3) インキュベーションセンター退去

研究開発事業が修了したため、平成28年12月に退去の申請があり、それを受理した。

〔退去日〕 平成29年3月31日（金）

・退去者 株式会社あおい

(4) インキュベーションセンター入居者成果発表会

今年度は、「こおりやま産業博2016」の会場において、当機構ブース内に各入居者の会社案内（ポスター、パンフレット、模型、試作品等）を出展した。

〔開催日〕 平成28年10月7日・8日・9日（3日間）

〔会場〕 ビックパレットふくしま

〔内容〕 当機構ブース内において10社の会社案内・研究成果等の紹介。

(5) 日本大学工学部研究室訪問

日本大学工学部の教授等を対象に、産学連携を一層推進するため、当機構とものづくりインキュベーションセンターの事業紹介及び施設の説明を行った。

〔実施期間〕 平成28年5月18日～6月22日

〔対象者〕 在籍3年未満の教授・准教授・助教（総合教育を除く）

〔面談者数〕 18名：教授（5名）・准教授（8名）・助教（5名）

2. 債務保証事業

(1) 債務保証の実績

①平成28年度保証実績

現在 0件

②平成28年度末の保証残高

保証残高はなし。

【技術振興事業】

1. 研修指導事業

(1) 産学連携技術者研修事業

①産学連携製造技術人材育成事業（マイスターズ・カレッジ2016）（一部新規）

ものづくり中小企業の技術者等を対象に、企業・大学等高等教育機関、産業支援機関等の産学連携により、基盤的製造技術（金属加工等）の高度化を図る人材育成事業として、次の3コースにより実施した。

○メディカルテクノロジーコース（新規）

〔研修期間〕 平成28年9月12日～11月25日

〔研修場所〕 郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンター
日本大学工学部本館3階 第1会議室
福島県立テクノアカデミー郡山

- 〔講 師〕 出沢明 P E D クリニック 院長
田中医科機器製作所 社員 3 名
福島県立テクノアカデミー郡山 指導員 1 名
元郡山地域テクノポリス推進機構 技術コーディネーター 1 名
- 〔受講者数〕 1 1 名
- 〔内 容〕 医療現場で使われる手術用鋼製器械（手術用具）の重要性を学ぶ
手術用鋼製器械の設計と試作、汎用機及び手仕上げ技術の体験学習
- ・ 開講式、基調講演（3 コース併せて実施）
 - ・ 座学研修 5 時間（1 回 3 時間×1 回・1 回 1 時間×2 回）
 - ・ 実習 1 9 時間（1 回 3 時間×5 回・1 回 2 時間×2 回）
 - ・ 閉講式、交流会（3 コース併せて実施予定）

○イノベーションマスターコース

- 〔研修期間〕 平成 2 8 年 9 月 1 2 日～1 1 月 2 5 日
- 〔研修場所〕 郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンター
郡山市・日本大学工学部再生可能エネルギー共同研究施設
(旧赤津小学校・湖南)
- 〔講 師〕 日本大学工学部担当教員 2 名
(一財) 省エネルギーセンター 職員 1 名
- 〔受講者数〕 1 4 名
- 〔内 容〕 再エネ・省エネに関する講座
主に浅部地中熱に関する技術を学び、実際の施工現場を視察体験します
- ・ 開講式、基調講演（3 コース併せて実施）
 - ・ 座学研修 1 2 時間（1 回 1.5 時間×8 回）
 - ・ 視察研修会 1 回
郡山市・日本大学工学部再生可能エネルギー共同研究施設
(旧赤津小学校・湖南)
 - ・ 閉講式、交流会（3 コース併せて実施予定）

○マシニングセンタコース

- 〔研修期間〕 平成 2 8 年 9 月 1 2 日～1 1 月 2 5 日
- 〔研修場所〕 郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンター
福島県立テクノアカデミー郡山
- 〔講 師〕 福島県立テクノアカデミー郡山 指導員 2 名
株式会社イマオコーポレーション 1 名 三菱マテリアル株式会社 2 名
- 〔受講者数〕 8 名
- 〔内 容〕 3 D プリントにおける CAD データの作成と CAM/MC による実加工
マシニングセンタ基本操作
マシニングセンタに係る工具（刃物）の知識
- ・ 開講式及び基調講演（3 コース併せて実施）

- ・プログラミング 18時間（1回3時間×6回）
- ・マシンング操作 2時間（1回2時間×1回）
- ・工具知識の習得 4時間（1回2時間×2回）
- ・閉講式、交流会（3コース併せて実施予定）

②ちびっ子マイスターズ・カレッジ2016（拡充）

郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会や日本大学工学部等と連携し、小学生（3年生～6年生）とその保護者を対象に、「コンクリート探検隊！」・「コンピューター動かし隊！」の2つのテーマで実施し「ものづくり」や「ICT」について理解を深め、将来を担う子どもたちに「ものづくりやICT」の楽しさを伝えた。

○コース1：コンクリート探検隊！

- 〔開催日〕 平成28年7月23日（土）
- 〔会場〕 日本大学工学部70号館（7011教室・7014ホール・47号館）
- 〔参加者数〕 児童97名 保護者79名
- 〔講師等〕 日本大学工学部 土木工学科 教授 岩城 一郎 氏
日本大学大学院 工学研究科 大学院生
日本大学工学部 土木工学科 学生
- 〔内容〕 ・コンクリートの強度や研究内容についての講義
・工作（特殊セメントでキャラクター作り）
・コンクリートの破壊実験

○コース2：コンピューター動かし隊！（小学4～6年生対象）

- 〔開催日〕 平成28年7月23日（土） 郡山会場（午前・午後の2回）
平成28年7月30日（土） 鏡石会場（午前1回）
平成28年7月31日（日） 須賀川会場（午前・午後の2回）
- 〔会場〕 郡山会場：WiZ専門学校国際情報工科大学校
鏡石会場：鏡石図書館
須賀川会場：須賀川市産業会館
- 〔参加者数〕 98名（各回20名×計5回 児童のみ）
- 〔講師等〕 RIALAB. 代表 白府 誠 氏
- 〔内容〕 子供向けのパソコン「IchigoJam（いちごじゃむ）」のブレッドボード版（ハンダ付けの必要がなく、電子部品を差し込むだけで完成するキット）の組み立てから、BASICを用いた簡単なプログラミング体験

③中学生医工連携人材育成事業（新規）

- 〔開催日〕 平成28年8月2日（火）
- 〔会場〕 日本大学工学部 次世代工学技術研究センター
- 〔参加者数〕 27名
- 〔講師等〕 日本大学工学部 電気電子工学科 教授 酒谷 薫 氏
ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社社員

- 〔内 容〕 【日本大学工学部次世代工学技術研究センター】
・医療全般に係る講義／手術室等の施設見学／実習（脳波測定）
【ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社須賀川事業所】
・模擬手術体験

(2) 科学技術交流事業

① 研究会開催事業

日本大学工学部等との連携による研究会を開催した（アライアンス研究開発推進部会との共催事業）。

○サステナブル地域づくりフォーラム

(7) 第3回サステナブル地域づくりフォーラム

- 〔開催日〕 平成28年7月4日（月）
〔会場〕 日本大学工学部 50周年記念館（ハットNE）3階AV講義室
〔参加者数〕 140名
〔内 容〕 メインテーマ 「持続可能で自立した地域づくりを目指して」
話題提供

- ①日本大学工学部土木工学科 准教授 朝岡 良浩 氏
「水資源・水災害における気候変化の影響とサステナブルな適応策」
- ②日本大学工学部土木工学科 教授 中野 和典 氏
「ロハスのトイレシステムの実現に向けて」
- ③日本大学工学部建築学科 准教授 浦部 智義 氏
「小規模集落における地域交流施設の計画と運営」
- ④日本大学工学部土木工学科 教授 岩城 一郎 氏
「地域の橋はみんなで守るー橋梁日常点検チェックシートの考察と将来展望ー」

○健康医療福祉産業創生フォーラム

(7) 第3回健康医療福祉産業創生フォーラム

- 〔開催日〕 平成28年7月29日（土）
〔会場〕 日本大学工学部次世代工学技術研究センター
〔参加者数〕 90名
〔内 容〕 『次世代ヘルスケアシステムによる健康・予防の実現に向けて～郡山のモデル推進について～』
担当コーディネーター 日本大学工学部電気電子工学科 教授、次世代工学研究センター長 酒谷 薫 氏

第1部

- 講演1 「郡山市における次世代健康管理システム」
講師 郡山市保健福祉部 地域包括ケア推進課長 安藤 博 氏
講演2 「機能性食品・サプリメントの適正使用による健康寿命の延伸～健康長寿社会の実現に向けたヘルスケア企業の取組～」
講師 健康科学大学教授。(株)DHC 顧問 蒲原 聖可 氏

第2部

パネルディスカッション

パネリスト 酒谷 薫教授及び講師2名

(イ) 第4回健康医療福祉産業創生フォーラム

〔開催日〕 平成28年12月9日（金）

〔会場〕 日本大学工学部次世代工学技術研究センター

〔参加者数〕 50名

〔内容〕 テーマ 『明日の健康長寿社会を目指して（郡山モデルの実現）』

担当コーディネーター 日本大学工学部電気電子工学科 教授、次世代工学研究センター長 酒谷 薫氏

第1部 基調講演

演題 「きぼうときずなプロジェクトとふくしま復興の未来」

講師 中央大学理工学部 人間総合理工学部 大橋 靖雄 教授

第2部 パネルディスカッション

パネリスト

日本大学工学部電気電子工学科 教授 酒谷 薫氏

ゼビオコーポレート㈱ プロジェクト推進室長 澤 尚幸氏

健康科学大学教授・㈱DHC 顧問 蒲原 聖可氏

㈱エヌジェイアイ 橋本 弘幸氏

○イノベーションテクノロジーフォーラム

(ア) 第1回イノベーションテクノロジーフォーラム

〔開催日〕 平成28年8月5日（金）

〔会場〕 東成イービー東北株式会社

〔参加者数〕 13名

〔内容〕 ボードメンバー企業である東成イービー東北株式会社の工場を当フォーラムコーディネーター、サブコーディネーター、行政の皆様で視察。

その後、参加者全員で、工場見学を踏まえた意見交換会を開催。

② ICT高度利用推進事業

郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会と連携し、ICTを活用して高い付加価値を創造できる高度なICT人材の育成を図るため、多様なニーズに対応した研修会等を開催。

(ア) 第1回セミナー 「脱Excel！ kintone（キントーン）で業務改善」セミナー

〔開催日〕 平成28年9月30日（金）

〔会場〕 郡山商工会議所 5階 5-1会議室

〔参加者数〕 32名

〔講師〕 kintone エバンジェリスト / 合同会社アクアビット 代表 長井 祥和氏

〔内容〕 主に中小企業の業務効率化に役立つ、クラウド上のサービスである kintone（キン

トーン) について解説。

セミナーでは、データの共有、複数人での編集、セキュリティ、公開や編集権限の付与、実際のアプリ制作実演などを解説した。

③情報化人材育成・研修事業

産業界を中心に大学や研究機関・市町村と連携し、圏域 IT 企業の活性化や起業化、ICT の高度利用促進を図るための講習会等を開催。

(7)ハッカソン 「Connect 2016 in Koriyama, with UDC」

〔開催日〕 平成28年11月12日(土)～13日(日)

〔会場〕 郡山市青少年会館

〔参加者数〕 89名

〔内容〕 ICT やオープンデータを活用し、「地域の観光振興」(特に、インバウンド、風評の払拭)に役立つアプリケーション等の制作を、1泊2日の合宿形式で競い合った。

④産学官交流会等開催事業

テクノポリス講演会・交流会の開催や関係機関による交流会・講演会への支援。

(7)第17回 産・学・官連携フォーラム(日本大学工学部との共同主催)

日本大学工学部との共催により、産・学・官 組織の協力体制を強化させるため、各関係機関との連携促進に向けてフォーラムを開催した。

また、今年度はこの1年の活動報告と今後の展望についての話題提供を行った。

〔開催日〕 平成28年11月25日(金)

〔会場〕 日本大学工学部50周年記念館(ハットNE)大講堂

〔内容〕 スローガン 続・健全で持続可能なふくしまの実現を目指して

一新設された3つのフォーラムのこの1年とこれからー

○各コーディネーターよりこの1年の活動報告と今後に関する話題提供

① サステナブル地域づくりフォーラム

講師 日本大学工学部 土木工学科 教授 岩城 一郎 氏

② 健康医療福祉産業創生フォーラム

講師 日本大学工学部 電気電子工学科 教授 酒谷 薫 氏

③ イノベーションテクノロジーフォーラム

講師 日本大学工学部 機械工学科 教授 柿崎 隆夫 氏

○フォーラムへのメッセージ

イノベーションテクノロジーフォーラム

「3Dプリンターを梃子に地域から世界へ放つイノベーションを！」

講師 山形大学大学院理工学研究科 教授 古川 英光 氏

○各フォーラムの官を代表して話題提供

① サステナブル地域づくりフォーラム

「日本大学工学部と郡山市による下水道事業に関する連携協定について」

講 師 郡山市下水道部下水道維持課 課長 大竹 伸裕 氏

② 健康医療福祉産業創生フォーラム

「郡山市における地域包括ケアの課題と展望」

講 師 郡山市保健福祉部 地域包括ケア推進課 課長 安藤 博 氏

○金融機関を代表して話題提供

「すべてを地域のために」～地域活性化に向けた当行の取り組み～

○パネルディスカッション

【座長】 日本大学工学部 機械工学科 教授 柿崎 隆夫 氏

【パネリスト】 上記話題提供者 6 名

(4) 「テクノポリス新春講演会」の開催

(郡山地域テクノポリス市町村協議会、郡山地域テクノポリス推進協議会、郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会と共催)

地域産業の活性化に資する講演会を開催する。

〔開 催 日〕 平成 29 年 1 月 18 日(水) 13:30～15:00

〔会 場〕 郡山商工会議所 6 階

〔参 加 者〕 90 名

〔内 容〕 IT 活用による中小企業の生産性向上について

〔講 師〕 株式会社マネーフォワード 取締役 瀧 俊雄 氏

〃 事業推進本部長 宮原 崇 氏

(5) 須賀川市企業間ネットワークセミナー 2017 への協力

須賀川市内外における企業間のネットワークの拡大を推進し、地場産業の活性化を図るため、セミナーによる交流の場を設定し、企業に対する情報発信や企業間連携による研究開発、取引拡大等の機会を提供した。(須賀川市主催、テクノポリス共催事業)

〔開 催 日〕 平成 29 年 2 月 9 日(木) 15:00～19:00

〔会 場〕 グランシア須賀川

〔内 容〕 講演 1

「集う、はじめる。医療機器開発の新しいカタチ」

一般財団法人ふくしま医療機器産業推進機構 専門理事

兼ふくしま医療機器開発支援センター センター長 滝澤 眞己 氏

講演 2

「ふくしまから世界へ！福島医大と連携～Ti ハニカムメンブレンの開発」

林精器製造株式会社 代表取締役社長 林 明博 氏

講演 3

「材料の可能性を追求して～パネル組立型 ER の開発～」

神田産業株式会社ハニリアル事業部営業技術部 部長 石澤 秀忠 氏

⑤郡山地域資源情報発信事業

郡山地域の先進的研究機関、学術研究機関、優良製造業、産業遺産を貴重な地域資源と捉え、地域資源を有機的に結びつけた「サイエンスツアー（産業ツーリズム）」を実施し、郡山地域の魅力を幅広く県内外に情報発信を図った。

○サイエンスツアー in こおりやま 2016

〔内 容〕 日大工学部、郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンターを研修

〔参加者等〕 7月22日 前橋商工会議所 青年部 25名

10月20日 あさかの学園大学 郷土・生活学科1年 46名

10月28日 あさかの学園大学 芸術・文化学科1年 35名

11月30日 あさかの学園大学 健康・福祉学科1年 33名

(3) 技術情報提供事業

①NUBIC（日本大学産官学連携知財センター）等との連携による技術情報提供事業

NUBIC等との連携によるセミナーや定例相談会の開催等を通じて、大学の有する知的財産の企業への技術移転をはじめ、共同研究の促進など、産学連携活動の円滑化を支援。

〔内 容〕 産学連携・技術・知財に関する相談、企業出前セミナーの開催

〔相 談〕 平成28年4月1日から平成29年3月31日まで（月1回程度）

相談件数：11件

〔企業出前セミナーの開催〕 1件

2. 研究開発活動支援事業

(1) 研究開発コーディネート事業

①技術コーディネーターの設置（一部拡充）

産学官連携や企業間連携の推進を図るための技術コーディネーターを設置。

②技術アドバイザーの委嘱

各種助成制度案件に係る事前審査及び成果確認業務等を行うため、日本大学工学部の各学科（土木、建築、機械、電気電子、生命応用、情報）から教員各1名を、当機構の技術アドバイザーとして委嘱している。

(2) 福島県再生可能エネルギー次世代技術開発事業

平成25年度に採択された「テーマ：再生可能エネルギー利用次世代型農業施設開発」事業は、

3年間の事業を完了し引き続き、実験施設の活用・維持及び、再エネ地中熱の実用化のための活動を実施した。

3. 研究開発活動助成事業

(1) F/S（フィージビリティ・スタディ）支援事業

研究開発及び新事業創出に係る実現可能性調査に要する経費の一部を助成。

平成28年度助成決定件数 1件

株式会社アグリクラスター

「シイタケ高度化生産支援システム」構築による高収益の実現

(2) 研究開発助成事業

新技術又は新製品の開発、生産工程の合理化又は製品の高付加価値化、これらに類する技術の高度化に関する研究開発に要する経費の一部を助成。

平成28年度助成決定件数 0件

(3) 技術等審査委員会の開催

研究開発助成金申請及び地域技術起業化助成金申請に対し外部審査委員による審査会を開催。

今年度は開催なし

【地域技術起業化推進事業】

1. ものづくり起業家育成・支援事業

郡山テクノポリス地域戦略的アライアンス形成会議を中核として、事業連携を推進。

(1) 企業連携（アライアンス）の促進

①会議・交流会等の開催

(ア) 役員会

〔開催日〕 平成28年5月20日（金）

〔会場〕 ビッグパレットふくしま4階 特別会議室

〔参加者〕 12名

〔内容〕 ・27年度事業報告及び収支決算報告について
・28年度事業計画（案）及び予算（案）について
・28年度役員（案）について

〔開催日〕 平成28年7月12日（火）

〔会場〕 ビッグパレットふくしま3階 テクノポリス推進機構事務室

〔参加者〕 12名

〔内容〕 ・新規会員企業及び退会企業について
・受発注商談会及びアライアンス全体会について
・企業製品等発表会（プレゼン会）について

〔開催日〕 平成28年10月28日（金）
〔会場〕 ビッグパレットふくしま3階 テクノポリス推進機構事務室
〔参加者〕 11名
〔内容〕 ・新規会員企業及び退会企業について
・アライアンス形成会議・全体会について
・産・学・官連携フォーラムについて

(イ) 総会・交流会

〔開催日〕 平成28年6月14日（火）
〔会場〕 ホテルハマツ
〔参加者〕 27名
〔内容〕 ・27年度事業報告及び収支決算報告について
・28年度事業計画（案）及び予算（案）について
・28年度役員について
・福島県の重点施策について～再生可能エネルギー関連産業の育成・集積に向けて～
(福島県商工労働部産業創出課 主幹 渡部 修 氏)

(ウ) 特別講演会

〔開催日〕 平成29年3月16日（木）
〔会場〕 ホテルハマツ
〔参加者〕 90名
〔内容〕 「地方から日本を変える～慶應鶴岡キャンパスの挑戦～」
慶應義塾大学先端生命科学研究所 所長 富田 勝 氏

(エ) 企業製品等発表会（プレゼン会）

・第3回

〔開催日〕 平成28年5月20日（金）
〔会場〕 ビッグパレットふくしま4階プレゼンテーションルーム
〔参加者〕 43名
〔内容〕 日本大学工学部シーズ発表
機械工学科 教授 武藤 伸洋 氏
会員企業による企業紹介
福島岩通株式会社（須賀川市） 代表取締役 永松 良輔 氏
三宝製薬株式会社福島工場 工場担当取締役 相楽 秀和 氏

・第4回

〔開催日〕 平成28年9月6日（火）
〔会場〕 日本大学工学部ハットNE3階AV講義室
〔参加者〕 32名

〔内 容〕 高等教育機関等によるシーズ発表

日本大学工学部 工学研究所次長（機械工学科教授） 柿崎 隆夫 氏
会員企業による企業紹介

株式会社アグリクラスター 代表取締役 福宮 健司 氏

有限会社エスク 代表取締役 高島 伸幸 氏

産業支援機関による事業説明

企業マッチングサイト「J-GoodTech（ジェグテック）」について

独立行政法人中小企業基盤整備機構販路支援部 依田 直生 氏

（オ）日本大学工学部企業見学会への協力

技術者の道を歩もうとする学生がものづくりに関わる職場を見学することで、仕事をする意義の理解を進めるとともに、地元企業と大学との連携を深めることを目的に開催した。

〔開催日〕 平成28年10月21日（金）

〔見学先〕 笠原工業㈱（須賀川市）

東北アンリツ㈱（郡山市）

ジョンソン&ジョンソン（株）（須賀川市）

三春工業㈱（三春町）

㈱タマテック&㈱石川製作所（鏡石町）

〔参加者〕 機械工学科3年生以上の学生と担当教員 150名

〔内 容〕 会社概要説明、工場内見学、質疑応答

（2）研究会活動支援事業

①アドホック研究会

（ア）アドホック研究会

会員相互の技術、情報などの交流と幅広い研究を通して、新技術、新商品、新事業の開発と新市場の開拓を促進するとともに、生産・販売面での相互協力を促進し、会員企業の成長発展と地域産業の振興に貢献することを目的に 1986 年に設立され、これまで会員企業同士による研究開発や研究施設への視察研修、会員企業の工場訪問等、積極的に事業展開を図ってきた。

なお、平成29年3月31日をもって、当研究会は解散しました。

4月 定期総会

5月 情報交換会

6月 視察研修

・国立研究開発法人 産業技術総合研究所 福島再生可能エネルギー研究所

7月 情報交換会

8月 情報交換会

9月 視察研修

・株式会社デンソー福島

10月 情報交換会

11月 情報交換会

- 12月 臨時総会
- 1月 情報交換会
- 2月 情報交換会
- 3月 情報交換会

(イ) 須賀川方部アドホック研究会

- 4月 定期総会
- 5月 三春異業種交流会との交流 in 須賀川
企業視察研修 福島岩通株式会社
三春町異業種交流会との交流
- 6月 テーブルスピーチ
テーマ 電力システム改革に向けた取り組みについて
講師 東北電力須賀川営業所 副所長 矢沢 政幸 氏
- 7月 国内視察研修（宮城県） 女川原子力発電所
- 8月 新規会員企業紹介
有限会社金敷製作所 代表取締役 金敷 登 氏
丸源道路株式会社 代表取締役 西藤 昇 氏
株式会社東北須賀川電工 代表取締役 橘 豊男 氏
- 9月 企業視察研修（山形県）
慶應義塾大学先端生命科学研究所
鶴岡メタボロームクラスター
オリエンタルカーペット株式会社
- 10月 海外視察研修（マレーシア）※11月3日～7日
岩通マレーシア、日野自動車 ほか
- 11月 須賀川商工会議所工業部会連携企画
日本国際工作機械見本市（東京ビッグサイト）
- 12月 テーブルスピーチ
テーマ 千葉工大の教育・学生に関する動向
講師 千葉工業大学工学部 教授 西田 保幸 氏
- 2月 須賀川企業間ネットワークセミナー2017への参加
- 3月 次年度事業計画策定意見交換会

(3) 「こおりやま産業博 ーKORIYAMA EXPO2016」の共催

〔開催日〕 平成28年10月7日（金） : 企業内覧会
8日（土）～9日（日） : 一般公開

〔会場〕 ビックパレットふくしま

〔内容〕 当機構ブース内に、機構の業務案内とものづくりインキュベーションセンターに入居する10社の案内（ポスター、パンフレット、模型、試作品、研究成果等）を出展した。

※全体概要

〔出展者数〕 194社・251小間

〔入場者数〕 20,415人

〔内 容〕 「猪苗代湖・安積疏水・安積開拓日本遺産認定」、「オランダホストタウン登録」「JA福島さくら合併」を記念して、こおりやま産業博－KORIYAMA EXP02016－が開催されました。

IoT ホテルの再現、水素自動車ミライ体験試乗などの最新技術の展示、伝統工芸、医療、介護、福祉など暮らしに役立つ情報の提供、地元の野菜や果物、特産品に加え、新しく開発された「安積開拓井」などを販売するコーナーがあり、多くの来場者で賑わった。

2. 地域間産業交流支援（RIA：Regional Industry Alliance program）事業

①事業概要

郡山地域テクノポリス圏域等の医療福祉機器開発に関連する中小企業と韓国 江原道 原州市の医療機器産業クラスターを中心に展開されてきた JETRO の「RIT：地域間交流支援事業」の実施で培った日韓両国の産業交流を継承して、新産業の創出を目標に事業展開している。

〔対象国・地域〕 韓国 江原道 原州市及び周辺地域の医療機器産業クラスター

〔国内の実施機関〕 公益財団法人 郡山地域テクノポリス推進機構

〔韓国の実施機関〕 財団法人 原州医療機器テクノバレー

②事業内容

(7)「江原医療機器展示会 GMES2016」への参加及び関連機関視察

〔期 間〕 平成28年9月21日(水)～9月23日(金)

〔場 所 等〕 展示会場：韓国 江原道 原州市 「江原医療機器展示会 GMES2016」

〔医療機器総合支援センター(MCC: Medical Device Complex Center)内〕と企業都市(MediPolis)、東華医療機器専用工業団地等を視察。

〔参 加 者〕 (公財)郡山地域テクノポリス推進機構、出展企業：3社[ひさき設計㈱、(株)アド㈱ケイ・エス・エム]、日本大学工学部計測・診断システム研究室

(4)「メディカルクリエーションふくしま2016」への参加

〔開 催 日〕 平成28年11月25日(金)～11月26日(土)

〔会 場〕 「メディカルクリエーションふくしま2016」ビックパレットふくしま

〔内 容〕 当財団で、「韓国 原州医療機器産業クラスター」のブースを設け、韓国側より4社と財団法人 原州医療機器テクノバレーが参加予定であったが、11月22日の早朝発生した福島沖地震の影響で急遽不参加となった。

3. 地域技術起業化支援・助成事業

(1)新技術・新製品市場開拓支援事業

新技術、新製品の市場開拓や販路拡大につなげることを目的とする産業見本市等への出展や市場等の調査、テストマーケティング、アドバイザーの活用など戦略的マーケティングに要する経費の一部を助成。

①産業見本市等出展支援事業

平成28年度支援決定件数 0件

(2)地域技術起業化助成事業

研究段階を終え、起業化の可能性が高まった地域技術を応用可能な段階へと成熟させ、製品化・商品化するため、商品・デザイン開発・情報収集、市場開拓などの事業に要する経費の一部を助成。

平成28年度助成決定件数 0件

4. コーディネート事業

(1)産学連携コーディネート業務

郡山市が、『コーディネーターによる潜在的成長力を有する企業の発掘、さらには、高等教育機関、産業支援機関及び公的研究機関が存在する郡山市の強みを生かしたマッチング等により再生可能エネルギー分野及び医療・福祉分野などにおける新たな事業や技術の創出を支援する。』ことを目的に平成27年度から実施している公募型プロポーザル方式による委託業務を当機構が受託した。

〔発注者〕 郡山市

〔件名〕 産学連携コーディネート業務

〔受託期間〕 平成28年8月1日から平成29年3月17日まで

〔事業概要〕 主な実績は以下の通り

① 市内企業に関する情報収集を行い、潜在的成長力を有する企業の発掘

郡山市内企業の訪問等を通じて、以下のリストを作成。

○潜在的成長力を有する企業リスト

○中核企業リスト

○外注企業候補リスト

○試作品製作可能企業リスト

○特定分野別企業リスト

② 企業、大学、研究機関等のニーズ・シーズ等の発表会等を開催

ア 産総研福島再生可能エネルギー研究所向け企業技術発表会の開催

再生可能エネルギー関連分野で技術力のある企業を対象に、産総研側との橋渡しを行う。

なお、発表した「福島再生可能エネルギー㈱」は、「産総研福島再生可能エネルギー研究所と『秘密保持契約』を締結しました。

・開催日時・対象企業 平成28年9月29日(木)・ ㈱テレジャパン

平成28年10月3日(月)・ SAISEI 合同会社、

・福島再生可能エネルギー㈱

・開催場所 産総研福島再生可能エネルギー研究所

イ 産学連携セミナー

「中小ものづくり企業」の成長発展に努めている先進地域の実例紹介を含むセミナーを開催した

- ・開催日時 平成 28 年 10 月 25 日（火）
- ・開催場所 郡山商工会議所 6 階中ホール A
- ・参加者 63 名
- ・講師 ○国立研究開発法人科学技術振興機構
産学連携展開部長 金子 博之 氏
～産学連携について（現状の課題と今後の展開）～
○東成エレクトロビーム株式会社
代表取締役会長 上野 保 氏
～TAMA 協会の産学官金連携等の事例紹介～

③ 市内企業と大学、公的研究機関等とのマッチング

ア 日本大学工学部との産学連携希望調査

「日本大学工学部」と「郡山地域企業」との連携構築を図るため、教員の「研究テーマ」や「産学連携意向」を調査し、大学と企業との橋渡し機能の強化を図る。

- ・調査対象 日本大学工学部教員 150 名
- ・調査日 10 月 26 日

この調査結果を基に、日本大学工学部溝口准教授と福島県ハイテクプラザとのマッチングを実施し、平成 29 年 3 月 8 日開催の「製造技術高度化研究会セミナー」に講師として溝口准教授をお招きし、企業向け講演を実施し企業との産学官連携の構築を図った。

イ マッチングプラットフォーム「リンカーズ」を活用した大手発注企業と市内企業とのコーディネート

- ・発注案件に係る郡山市内への紹介企業 7 社

ウ 日本大学との知的財産・産学連携技術相談

NUBIC（日本大学産官学連携知財センター）郡山サテライト開催

【結果】

- ・技術相談 6 件
- ・出前セミナー 1 件

5. 郡山地域ものづくり受発注商談会（新規）

当機構設立 30 周年記念企画として、「郡山地域におけるものづくり企業」の「新規取引先の開拓」「ビジネスマッチングの機会創出」を図るため、トヨタ自動車東日本㈱や富士電機㈱、古河電池㈱、会津オリンパス㈱等「県内外の発注企業 26 社」を招聘し、「郡山地域をはじめとする県内受注企業 61 社」と商談や情報交換を行い、販路拡大に向け、商談ブースでは積極的な意見交換が交わされた。

商談会終了後は、交流会を開催し、参加者からは、「東北の商談会で最も良かった」「多様な企業の話が聞けて大変参考になりました」等、数多くの意見をいただいた。

- 〔開催日時〕 平成 28 年 12 月 2 日（金） 12:30 ～ 17:00
- 〔開催場所〕 郡山商工会議所 6 階
- 〔募集対象〕 **【発注企業（メーカー、商社 等）：40 社程度】**
一般機械、電気機器、金属製品、精密機器、輸送用機器、製造業
の資材・購買・調達・設備・生産技術部門、研究開発部門 等
【受注企業：80 社程度】
機械加工、製缶・板金・プレス、鋳造・鍛造、塗装、表面処理、
電気機器、プラスチック成形、機械装置設計 等
- 〔参加企業〕 **【発注企業】：26 社**
【受注企業】：61 社
- 〔商談形式〕 「発注企業」と「受注企業」による個別面談方式
（1 商談 20 分、最大 9 回程度）
- 〔参加費〕 **【発注企業】：無料**
【受注企業】：3 千円（税込）/社

【広報活動事業】

1. 広報誌「サザンクロス」等による広報

昨年度の活動やピックアップ情報等を盛り込んだ広報誌を作成し、圏域内企業、関係行政機関、商工団体、研究会会員などに配布し、事業周知を図った。

2. テクノポリスだより

昨年度まで発行していた「インキュベーションセンターだより」を「テクノポリスだより」に名称を変更。毎月 1 日に発行日を変更し、サザンクロスでは紹介できない講演会の案内や当機構に関する旬な情報を紹介。圏域内企業、関係行政機関、商工団体、研究会会員などに配布し、事業周知を図った。

3. ウェブサイト、SNS（ソーシャルネットワークシステム）による広報

インターネット・ウェブサイト「テクノ・ニューコメ インフォメーション」や、SNS（Facebook ページ）により、テクノポリスの事業概要をはじめ、各種セミナー、研究会の開催案内・参加募集・開催報告、助成制度案件の募集など、企業に役立つ情報を提供。

4. メールマガジンの発行

会員企業等に各種セミナーや研究会の開催案内・参加募集・開催報告、その他事業等の実施報告、助成制度等の情報を提供するため、メールマガジンを月 2 回程度発行。

【理事会等の開催】

1.監査会

- 平成28年5月26日(木)
 - ・平成27年度事業報告書、貸借対照表、正味財産増減計算書及び附属明細書並びに財産目録について

2.理事会

- 第1回 平成28年6月6日(月)
決議事項
 - ・平成28年度定時評議員会の招集について
 - ・平成27年度事業報告について
 - ・平成27年度計算書類等について
- 第2回 平成28年6月21日(火)
決議事項
 - ・理事長及び常務理事の選定
- 第3回<決議省略の方法による> 平成28年7月12日(火)
決議事項
 - ・評議員会の招集について
- 第4回<決議省略の方法による> 平成28年11月9日(水)
決議事項
 - ・評議員会の招集について
- 第5回 平成28年11月21日(月)
決議事項
 - ・理事長の選定について
 - ・減価償却引当資産の目的外取崩しについて
報告事項
 - ・平成28年度事業執行状況について
- 第6回 平成29年3月21日(火)
決議事項
 - ・平成28年度補正予算(案)について
 - ・平成29年度事業計画(案)について
 - ・平成29年度当初予算(案)について
 - ・特定資産の取崩しについて
 - ・評議員会の招集について

3.評議員会

- 第1回<決議省略の方法による> 平成28年5月11日(水)
決議事項
・評議員及び監事の選任について

- 第2回<定時> 平成28年6月21日(火)
決議事項
・平成27年度計算書類等について
・理事・監事の選任について

- 報告事項
・平成27年度事業報告について
・平成28年度事業計画について
・平成28年度収支予算について

- 第3回<決議省略の方法による> 平成28年7月22日(金)
決議事項
・評議員の選任について

- 第4回<決議省略の方法による> 平成28年11月17日(木)
決議事項
・理事の選任について

【役員等の異動】

1.評議員

平成28年3月31日辞任 長門昭夫、平成28年5月11日選任 鈴木清昭
平成28年7月22日辞任 竹内誠司、平成28年7月22日選任 須藤英穂
平成28年7月22日辞任 遠藤定則、平成28年7月22日選任 後藤 宏

2.理 事

平成28年6月21日任期満了 理事10名の選任
平成28年11月17日辞任 須佐喜夫、平成28年11月17日選任 滝田康雄

3.監 事

平成28年3月31日辞任 佐藤哲郎、平成28年5月11日選任 新野徳秋
平成28年6月21日任期満了 監事2名選任

【事業報告の附属明細書の省略】

平成28年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないため、作成を省略する。